

行政の窓

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和7年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:91)
2. 調査実施時期 令和7年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法 [(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:78社 / 回答率:85.7%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
R6.9	-14	<i>-20</i>	<i>-4</i>	-	-	-
R6.12	-	-28	<i>-16</i>	<i>-2</i>	-	-
R7.3	-	-	-19	<i>-18</i>	<i>-23</i>	-
R7.6	-	-	-	-15	<i>-15</i>	<i>-15</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
当年	184,018	160,922	182,027	-	-	-
(前年)	232,595	194,394	208,257	203,910	184,018	160,922
対前年比	79%	83%	87%	-	-	-

(概況)
原木在庫は前年を下回る状況。受け入れを続けている工場がある一方、需要の低迷を想定し、慎重に調達をしているとの声も。

(回答企業の主なコメント)
原木の入荷が少ないが製品の動きも悪いため、不足感はない/合板工場の原木在庫が少ないため、購入意欲は旺盛だが、今後の需要動向は不透明/運材が本格的に動き出し、土場在庫が増えてきた

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
R6.9	-48	<i>-49</i>	<i>-50</i>	-	-	-
R6.12	-	-33	<i>-49</i>	<i>-40</i>	-	-
R7.3	-	-	-39	<i>-33</i>	<i>-27</i>	-
R7.6	-	-	-	-37	<i>-27</i>	<i>-35</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
当年	206,088	214,997	195,311	-	-	-
(前年)	203,546	223,613	195,992	214,229	206,088	214,997
対前年比	101%	96%	100%	-	-	-

(概況)
原木消費量は概ね前年並みの状況。建築材需要が減少している一方、パレット等の注文は前年並みを維持しているとの声も。

(回答企業の主なコメント)
一般住宅用建築材は荷動き悪い/建築関連について先行きが不透明/現状は厳しい/徐々に製材の動きが衰えると思われる/ホームセンター向けの製材は例年並み、一般流通材は減少/受注は前年並みの見通し

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
R6.9	2	<i>-18</i>	<i>-8</i>	-	-	-
R6.12	-	-17	<i>-15</i>	<i>-13</i>	-	-
R7.3	-	-	-15	<i>-30</i>	<i>-28</i>	-
R7.6	-	-	-	-36	<i>-41</i>	<i>-37</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
当年	233,392	194,918	198,468	-	-	-
(前年)	251,858	227,910	241,635	244,649	233,392	194,918
対前年比	93%	86%	82%	-	-	-

(概況)
原木在庫は前年を下回る状況。合板用として道外からの引き合いもあり、一部では不足感を感じるという声も。

(回答企業の主なコメント)
製材原木は長さによっては若干の不足感、合板原木は不足気味/5月中旬より入荷量が減少しているが、概ね適正在庫を維持している/本州からの引き合いが強くなっている/原木在庫は前年並み

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
R6.9	-44	<i>-54</i>	<i>-55</i>	-	-	-
R6.12	-	-26	<i>-45</i>	<i>-42</i>	-	-
R7.3	-	-	-34	<i>-23</i>	<i>-26</i>	-
R7.6	-	-	-	-26	<i>-37</i>	<i>-27</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12
当年	190,679	198,049	179,424	-	-	-
(前年)	180,271	182,272	177,283	190,253	190,679	198,049
対前年比	106%	109%	101%	-	-	-

(概況)
原木消費量は概ね前年並みの状況。一部でパレットの需要が伸びているものの、梱包材等の低迷で稼働日を調整するとの声も。

(回答企業の主なコメント)
パレット材は横ばいである一方でラミナ材の注文は減少/多少合板材の動きがよくなってきた/製材受注状況は昨年同時期よりも回復傾向にあるが先は不透明/製品は梱包を主体に出荷しているが、動きはよくない

(北海道水産林務部林務局 林業木材課 林業金融係)